

# 第3次南阿蘇村子ども読書活動推進計画

令和2年4月

南阿蘇村教育委員会

## 目次

第1章 策定の趣旨	1
1 子ども読書活動の意義	1
2 これまでの取組	1
3 第2次推進計画における成果と課題	2
第2章 計画の基本的な考え方	3
1 計画の目的	3
第3章 子どもの読書活動推進のための具体的な取組	4
1 保育所等における具体的な取組	4
2 小学校、中学校における具体的な取組	4
3 家庭に対して関係団体が連携して行う具体的な取組	5
4 村における具体的な取組	6
5 関係団体と施設等が連携して行う具体的な取組	6
第4章 計画の推進に向けて	7

### 資料

- ・南阿蘇村子ども読書に関するアンケート結果
- ・南阿蘇村子ども読書活動推進計画策定委員会設置要項
- ・子どもの読書活動の推進に関する法律

## 第1章 策定の趣旨

### 1 子どもの読書活動の意義

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであると、「子どもの読書活動の推進に関する法律」(平成13年法律第154号)において明記されています。

子どもは、読書を通じて、読解力や思考力、想像力、表現力等を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができるようになります。また、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得することで、探求心を持ち、自ら考え行動する力が培われます。

読書で培われる力を育むには、子どもの発達段階に応じて読書習慣を身に付けることが重要です。

しかしながら、近年私たちを取り巻く社会は、グローバル化の進展や技術革新により社会構造や雇用環境は大きく、また急速に変化しています。更にインターネットやスマートフォンの普及、それを活用したSNS(ソーシャルネットワーキングサービス)等コミュニケーションの多様化等により子どもを取り巻く情報環境も大きな変化を見せており、子どもの読書環境に大きな影響を与えているものと考えられます。

このような状況の中で、将来を担う子どもたちが心を豊かにし、生き抜く力を養うために、私たち大人は、子どもたちを取り巻く読書環境を整えるべく努めていく必要があります。

国は、読書活動の支援をするべく、平成12年を「子ども読書年」と定め、その翌年の平成13年に「子ども読書活動推進計画に関する法律」を公布・施行しました。同法の中で国は、「すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるように積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない」と読書活動の推進に関する基本理念を述べています。

これを受け、南阿蘇村は、平成22年に「南阿蘇村子ども読書活動推進計画」を、平成28年に「第2次南阿蘇村子ども読書活動推進計画」(以下、「第2次計画」という。)を策定し、読書活動の推進に取り組みました。今回、第2次計画の期間中における取組の成果と課題を検証し、今後の本村における子どもの読書活動の目指す方向性を示すため、「第3次南阿蘇村子ども読書活動推進計画」(以下、「第3次計画」という。)を策定いたします。

### 2 これまでの取組と子ども読書活動の現状

南阿蘇村では平成17年2月に3村(旧久木野村、旧長陽村、旧白水村)が合併し、各庁舎にあった図書室を平成22年2月に南阿蘇村長陽中央公民館図書室に集約して、村民などへの貸出しを行ってきました。平成28年の熊本地震では、図書室も被害を受け、数カ月間の休室となりましたが、図書の整理等を行い再開することができています。しかしながら、現在の村の図書室の機能は、本の貸出業務が主であり、子どもたちの読書活動にとって十分な施設とは言い難い状況です。このため、村では旧久木野庁舎を施設改装し、図書室を併設した複合施設を令和3年度に開館するとしています。

これまでの読書活動の取組としては、村で行われる乳幼児健診に併せて、読み聞かせを行い、絵本を見る楽しさや、絵本を通じて親子のコミュニケーションを図る大切さを伝え、絵本をプレゼントするブックスタート運動を実施しています。更には、NPO法人南阿蘇えほんのくにと

連携し、幅広い年齢に合った本を購入、その他イベント等への協力、放課後子ども教室での読み聞かせなども行っています。

保育所では、年齢に応じた月刊本を年間購読し、各クラスで毎日読み聞かせを実施しています。その他に、季節、行事にあった紙芝居なども利用し、繰り返し読み聞かせを行うことで、子どもたちに読書の楽しさを教えるよう努めています。

小・中学校では、朝自習の時間を利用しての読書タイムを推進するとともに、ボランティアによる読み聞かせを実施しています。また、読書週間を設定したり、先生や児童生徒のお勧め本コーナーなどの企画展示を設置する等、本に親しみやすい環境を作っています。

### 3 第2次計画（平成28年～令和元年度）の成果と課題

第2次計画策定時と今回のアンケート（アンケート結果参考資料参照）を比べてみると、子育て支援センター利用児童及び保育園利用児童は、読書が好きという割合が減り、どちらかといえば好きな人の割合が増えています。総合的には好き、どちらかといえば好きの割合は、ほぼ変わらないのですが、一ヶ月に保護者が読み聞かせる冊数は減少しています。また、読み聞かせを行う人は、母親以外の人の割合が増えています。その背景には、熊本地震による生活環境の変化、就業状況の変化等により、家庭での読み聞かせ等の時間の確保が難しくなっているのではないかと考えられます。ブックスタートを機に保護者の読書活動に対する意識向上、未就学児に対し、読み聞かせを繰り返し実施できる環境を確保することが課題です。

次に、小・中学生の読書が好きな人の割合は減少傾向にあり、嫌いな割合が増えています。しかし一方で、一ヶ月に読む本の冊数は増加傾向にあります。また、第1次計画、第2次計画と年齢を重ねる度に減少していた読書活動は、今回も減少傾向にあるものの、学年によりその傾向は異なるようです。これは、個々の読書活動に対する取り組みに影響するものと推察します。児童・生徒自身が自主的に読書活動に取り組み、読書習慣が身につくよう、読書の楽しさを知るきっかけを作り、読書体験を深めるような機会を提供していく必要があります。

小・中学校では、ボランティアや先生による読み聞かせが行われ、地域との連携も取れています。読書週間等に併せ、読書活動が推進されるような様々な取組と共に、学校童話発表会など子どもの読書活動の成果を発表する場を設けるなど、学校全体で読書活動に取り組むことができています。更に学校図書室の配架の工夫等も行い、子どもの目線や年齢を考慮したことで読書環境を整えることもできています。今後も継続して、学校全体で読書活動に取り組む必要があります。

アンケートの自由記載欄には、「本を増やしてほしい、読みたい本がない」という児童、生徒の声があります。現在の村の図書室は小規模で蔵書数も少ないため、やむを得ず他の市町村の図書館で本を借りる方も多いのが現状で、多忙な日々を送る児童・生徒、その保護者は読書の時間を確保することも厳しい状況にあります。

そのような現状に対し、新たな図書室を開室し、村、保育所、学校、地域等が連携しながら、読書環境整備の課題に取り組む必要があります。

また、第2次計画において、「家読<sub>※1</sub>」の推進啓発活動の取組に努めましたが、普及できておらず、読書嫌い、本を読まない児童生徒が増えています。そこで、読み聞かせの活動は引き続き行いながら、子どもが自ら本を手取るよう新たな取り組みを推進していく必要があります。

特に家庭での読書時間は、テレビ、ゲーム、スマートフォンなどの普及により、減少傾向にありますので、引き続き「家読<sup>※1</sup>」の推進啓発活動に力を入れていかなければなりません。

上記のことを踏まえ、今後は子どもの読書習慣の構築に向け、更なる読書環境の整備・充実をめざすこと、並びに各団体との連携を密にして、本に親しむ取組を推進することで、「読書は楽しいもの」となるように読書活動の推進を努めていく必要があります。

※1家読（うちどく）

「家庭読書」「家族読書」の略語。「朝読書」の家庭版として考えられたもので、家族で本を読み、コミュニケーションをとる機会の増加を目的としている。

## 第2章 計画の基本的な考え方

### 1 計画の目的

この計画は、子ども達が読書を通じて、語彙力、読解力、思考力、表現力等の生きていく上で基本となる力を養い、人生をより深くし、生涯にわたり読書活動に親しんでいけるような習慣づくりを目指した子どもの読書活動の環境を整備していくため、下記の5つを基本的な取組とし、計画を進めていきます。

#### 1) 子ども読書活動推進のための基本的な取組

- ① 保育所等における読書活動の取組
- ② 小学校、中学校における読書活動の取組
- ③ 家庭に対して関係団体が連携して行う読書活動の取組
- ④ 村における読書活動の取組
- ⑤ 関係団体と施設等が連携して行う読書活動の取組

#### 2) 計画の期間

令和2年度から令和6年度までの5年間

#### 3) 計画の対象

この計画の対象はおおむね18歳以下の子どもを対象としています。なお、子どもの読書活動の推進に関する保護者、ボランティア、行政関係者等も対象としています。

### 第3章 子どもの読書活動推進のための具体的な取組

#### 1 保育所等における具体的な取組

幼少期は人が生きていく上での基本となる土台を築く時期と言われています。生活の基本を覚える幼少期は、絵本などを通じて覚えることも多いはずですが、そして、最も感性が豊かに育つ時期に、読み聞かせをしてあげることによって、言葉と心を育みます。幼少期に「読書をした人」は「読書をしない人」と比べて、成長してからの文化教養の高さに差がでてくるとも言われています。幼い頃からの読書習慣を身に付けることは「学びの習慣」を身に付けることにも繋がります。保護者はもちろん、周りの大人が子ども達へ、読書の楽しさを教える機会を増やすことが、幼少期の子ども読書活動には不可欠です。本を通じての「学び」のきっかけづくりに、村と保育所は連携し努めていきます。

##### 1) 家庭における読書活動推進の啓発に努める。

- ・家庭において、今より多くの読み聞かせや、本に触れる機会を増やすことを目標に、啓発活動を積極的に取り組みます。
- ・ジャンル別や年齢別で読んでほしい本の紹介を行い、家庭で親子一緒に読書を楽しむ機会作りに努めます。

##### 2) 日常の読書や読み聞かせの充実を図る。

- ・園内行事において、おはなし（パネルシアターやエプロンシアター、劇など）を取り入れ、興味や関心が広がるよう楽しさを伝え、その後、同じおはなしの絵本や紙芝居を読み聞かせることで読書の楽しさを伝えます。
- ・保育士による毎日の読み聞かせを通して、読書への興味・関心が高まるよう努めます。

##### 3) 保育所図書への充実を努める。

- ・年齢に応じた図書がいつでも自由に読めるように、各クラス図書の充実を努めます。
- ・園児の視線、動線を考え、本の配置を工夫し、読書しやすい環境を整備するよう努めます。
- ・絵本係など図書担当保育士を決め、研修会や講座等へ積極的に参加し、保育士の質の向上にも努めます。

##### 4) 園児の読書活動推進のため他の施設との連携を図る。

- ・村の図書室等の利用を促進し、様々な図書を園児に読み聞かせできるように取り組みます。
- ・南阿蘇に伝わるお話の読み聞かせを推進します。

#### 2 小学校、中学校における具体的な取組

学校は、読書習慣を形成していく上で最も大きな役割を担う場所であり、その拠点である学校図書室は子ども達の意欲的、自主的な読書活動の場になるべきであると考えます。そのために学校の図書室環境を整備し、子ども達の読書意欲が向上するような仕掛け、仕組みづくりに取り組みます。読書が好きな子、嫌いな子、得意な子、苦手な子、読むのが速い子、遅い子、一人ひとりの子どものために読書が楽しくなるような環境を整えます。

ほとんどの学校では、現在もボランティアによる読み聞かせが行われており、地域の方々も子どもの読書活動推進に活躍されています。また、朝自習時間等に読書の時間が設けられ、子ども達の

読書習慣が形成できるような取組もされています。

しかし、年齢を重ねると、勉学や委員会活動、クラブ活動により、読書に取り組む時間が減っているのも事実です。多忙な日々を送っている児童・生徒も、少しの空いた時間を読書活動に取り組むことができるように村と学校が連携し推進を図ります。

1) 学校での読書時間の確保、読書の推進を啓発する。

- ・朝の時間等を利用して読書時間を設定し、積極的に読書に取り組む環境づくりを推進します。
- ・児童・生徒の発達段階に応じた本の紹介を行い、子どもが本を手に取りたくくなるような展示の工夫を心がけるよう努めます。
- ・子ども達の興味関心を考えながら、学校図書室に購入する選書に取り組むよう努めます。

2) 児童生徒の読書活動に関する意欲、関心を高めるため、読み聞かせ等の活動を推進する。

- ・月に数回の保護者や先生、ボランティアによる読み聞かせやブックトークを行い児童・生徒が本に親しむ機会の提供を推進します。
- ・児童会活動や生徒会活動を通して、定期的に本の紹介や、発表会などを設け、読書に親しむ機会づくりを推進します。

3) 全校一斉読書や、読書月間などを利用した読書活動の啓発に努める。

- ・子ども読書週間などの期間と併せた催しを行うよう啓発し、読書活動の推進に努めます。
- ・読書活動の推進のため学校で読書曜日を設定するよう啓発し、イベントを開催することで児童・生徒が読書に触れる機会を提供します。
- ・校内童話発表会など図書行事を設け、読書の機会をつくり、読書活動の推進に努めます。

4) 学校を通して県立図書館子ども文庫、村の図書室から借入れを行い、図書の充実に努める。

- ・県立図書館の団体貸し出し子ども文庫の利用、村の図書室より借入れを行い、学校で様々な本が読めるように努めます。

### 3 家庭に対して関係団体が連携して行う具体的な取組

子どもの読書習慣は、毎日の生活によって形成されるものです。読書活動が子どもの生活の一部として位置づけられるように、保護者自身が子どもと一緒に読書に親しみ、読み聞かせを行い、時には本と一緒に選ぶような環境を目指します。しかし、保護者の共働きやテレビ、ゲーム等の普及から、保護者自身の読書をする時間も減ってきています。そのような多忙な日々の中に、少しでも親子が読書に親しめるような環境を整えるため、広報等を通じて啓発に努め、読書の重要性について保護者の理解の向上に努めます。

1) 家庭での読書時間の確保に努める。

- ・家庭で、読書や読み聞かせができるように学校と連携を図り、本の貸出しや、本の紹介などを行いながら、読書の啓発に取り組みます。
- ・親子で読書をするような時間を設け、「家読」の推進活動に努めます。
- ・空いた時間などで自主的に読書に取り組むような啓発を行います。

2) 読書活動に関する講座への参加を促す。

- ・子ども読書の意義、大切さの理解を深めるために、講座や、研修会、保護者会などの参加を促す取組を推進します。

### 3) 親子で楽しく読書ができる環境を整える。

- ・広報や学校の便りなどで啓発を行い、家族で読書に親しめるような環境づくりに努めます。
- ・学校図書室、村の図書室の利用を促進し、本の貸出しを行い、親子で読める本の提供に努めます。

## 4 村における具体的な取組

現在南阿蘇村では、令和3年度の図書室開室に向け準備をしています。これまでの図書室における課題を改善し、子どもたちの読書活動の拠点となる環境整備に取り組んでいきます。また、保育所、小・中学校と連携をとり、子どもたちの身近である保育所、学校図書室の図書の充実、予算の確保等をしていく必要があります。

### 1) 保育所、小・中学校や、学童保育などと連携し図書資料の充実、支援に努める。

- ・学校図書館図書標準等に基づく蔵書数達成のために、予算の確保と蔵書点検を実施します。

### 2) 南阿蘇村における読書環境の整備に努める。

- ・子どもからお年寄りまでの幅広い年代や、親子等で行きたくなるような図書室の整備を目指し、「情報提供」としての機能だけでなく「交流の場」として機能を持つ、南阿蘇らしい施設となるよう努めます。
- ・読書活動に関する情報を発信、共有できるように、保育所、小・中学校と連携し、活発的な広報活動に取り組みます。
- ・新しい本を多く取り入れ、蔵書の充実に努めます。

### 3) 「子ども読書の日」などを中心とした啓発広報・イベント等の推進に努める。

- ・「子ども読書の日」をはじめとする様々な読書推進の取組と併せ、本の紹介を行い、展示の工夫をするなどして活動を広め、広報等での啓発に努めます。

### 4) 乳幼児に読み聞かせを行い、子ども読書活動の重要性を広める。

- ・乳幼児健診においてブックスタート運動を行い、子どもたちの絵本との出会いの場を提供し、子どもの読書推進の啓発活動を行います。

## 5 関係団体と施設等が連携して行う具体的な取組

子ども読書活動の推進には、地域ぐるみの取組が不可欠です。地域が学校等と協力して読み聞かせなどの活動を行うことで、より大きな効果が得られます。各施設単位だけでは行うことができない取組も、相互に連携し合うことで子ども読書活動推進のために大きな力になります。また、南阿蘇にはNPO法人南阿蘇えほんのくにという子どもの読書推進のために活動する団体があり、様々なイベント、地域文庫の運営、大人のための啓発活動などを行っています。南阿蘇村の将来を担う子どもたちのため、村全体が連携しながら、読書活動の推進を行っていきます。

### 1) 地域ボランティアによる活動の推進・支援を行う。

- ・読み聞かせボランティアをはじめとする地域ボランティアが、学校等で行っている活動を紹介し、多くの方々の活動参加を促します。
- ・ボランティア対象の研修会等の案内も積極的に行います。

### 2) 読書週間等に取り組み子どもの読書活動を推進する。

- ・PTAを始め各種関係団体が連携して子ども読書週間等の啓発を行い、各施設それぞれで子



も読書活動推進の取組に努めます。

3) NPO 法人南阿蘇えほんのくにと連携しながら活動の推進に努める。

・NPO 法人南阿蘇えほんのくにと連携し、地域文庫の利用を促進し、子どもたちの読書活動を推進します。

・NPO 法人南阿蘇えほんのくにが行っているイベント等の広報を行い、読書に親しむ場所の提供を促します。

## 第4章 計画の推進に向けて

本計画を南阿蘇村の子ども読書活動推進のための指針として位置づけ、計画の推進状況の確認、計画の推進に関する見直しや広報、啓発方法の検討、各団体の連携協力体制の充実を図ります。

### 目的

#### 子どもたちの読書習慣の形成

村、保育所、学校、家庭、ボランティアが連携し、子どもの読書活動推進のため環境整備に努め、より多くの子どもが読書に親しむことができるような活動の活性化に取り組む。

#### 南阿蘇村子ども読書活動推進計画

### 基本理念

読書を通じて、語彙力、読解力、思考力、表現力等の生きていく上で基本となる力を養い、人生をより深くし、生涯にわたり読書活動に親しんでいけるような習慣づくりを目指す。

子ども読書を支える村・保育所・学校・家庭・地域ボランティアの連携

### 家庭・地域

- ・読書時間の確保
- ・読書環境の整備
- ・「家読」の推進
- ・ボランティアによる読み聞かせ活動の場を提供 など

### 学校・保育所

- ・読書時間の確保、読書の推進
- ・読み聞かせ等の活動の推進
- ・図書室資料の充実
- ・団体貸出し利用の促進 など

### 連携

子ども読書活動推進  
のための環境整備

### 村

- ・図書資料の充実、支援
- ・南阿蘇村に図書館の機能を有する施設の整備
- ・読書活動推進のための啓発
- ・ブックスタート運動などの推進 など

## 参考資料

- ・ 南阿蘇村子ども読書に関するアンケート結果
- ・ 南阿蘇村子ども読書活動推進計画策定委員会設置要項
- ・ 子どもの読書活動の推進に関する法律

**南阿蘇村子ども読書に関する  
アンケート結果**

**南阿蘇村教育委員会**

**令和2年4月**

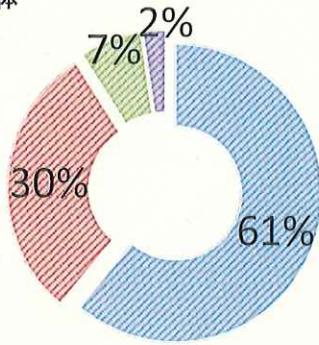


# 村内小中学生 集計表

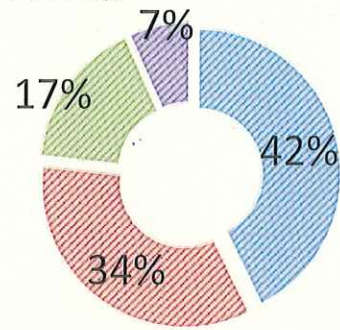
問1 本を読むことが好きですか。

- ①好き
- ②どちらかといえば好き
- ③どちらかといえば嫌い
- ④嫌い

小学生全体



中学生全体

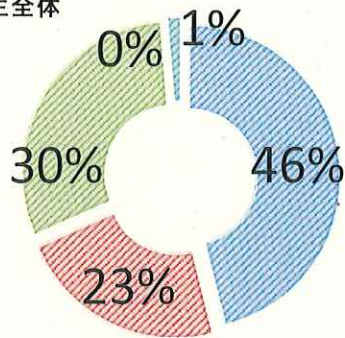


学年	小学生																		中学生								
	1年			2年			3年			4年			5年			6年			1年			2年			3年		
	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22
①好き	74%	66%	54%	57%	53%	72%	41%	46%	68%	48%	49%	62%	40%	42%	67%	44%	43%	45%	30%	27%	49%	52%	32%	36%	25%	34%	42%
②どちらかといえば好き	18%	26%	32%	26%	36%	25%	37%	40%	28%	30%	37%	26%	41%	38%	28%	34%	48%	39%	36%	43%	32%	15%	42%	38%	40%	37%	33%
③どちらかといえば嫌い	5%	8%	6%	9%	9%	1%	14%	8%	3%	14%	10%	11%	14%	18%	4%	14%	7%	14%	25%	23%	13%	18%	15%	20%	13%	20%	17%
④嫌い	3%	0%	7%	9%	3%	2%	8%	6%	1%	7%	4%	1%	4%	3%	1%	8%	2%	2%	9%	7%	6%	4%	11%	6%	6%	8%	8%

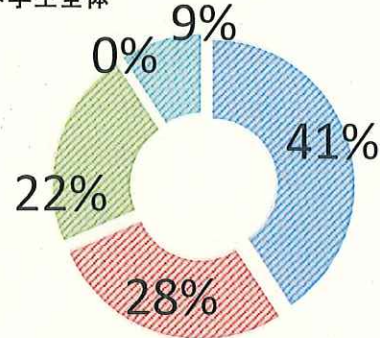
(問1で3・4と答えた方) どうして嫌いなのですか。

- ①読むのが苦手
- ②楽しくない
- ③面倒くさい
- ④分からない
- ⑤その他

小学生全体



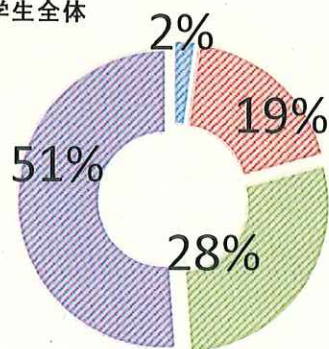
中学生全体



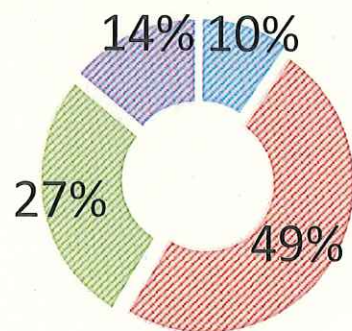
問2 一ヶ月に何冊くらいの本を読みますか。

- ①0冊
- ②1~2冊
- ③3~4冊
- ④5冊以上

小学生全体



中学生全体

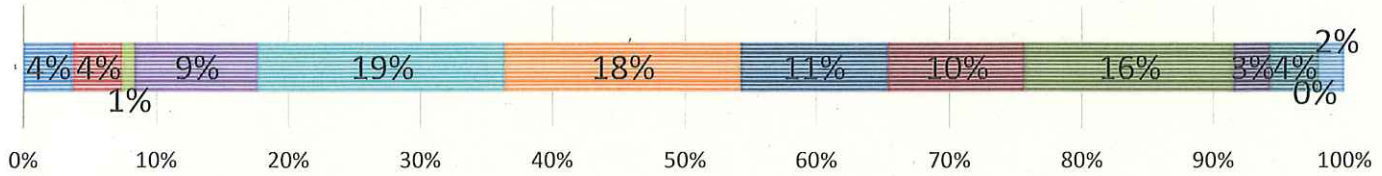


学年	小学生																		中学生								
	1年			2年			3年			4年			5年			6年			1年			2年			3年		
	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22
①0冊	0%	4%	6%	7%	3%	0%	10%	2%	6%	12%	9%	0%	13%	7%	0%	12%	9%	1%	26%	22%	2%	23%	24%	13%	37%	27%	15%
②1~2冊	12%	19%	23%	30%	33%	13%	38%	28%	11%	28%	41%	19%	35%	33%	21%	29%	39%	26%	45%	51%	40%	40%	53%	52%	43%	47%	57%
③3~4冊	18%	30%	21%	29%	24%	37%	18%	17%	18%	33%	19%	30%	19%	32%	30%	18%	26%	33%	17%	19%	34%	22%	16%	26%	13%	22%	20%
④5冊以上	70%	47%	50%	33%	41%	50%	34%	54%	65%	28%	32%	51%	33%	29%	49%	41%	27%	40%	13%	8%	24%	15%	6%	9%	8%	5%	8%

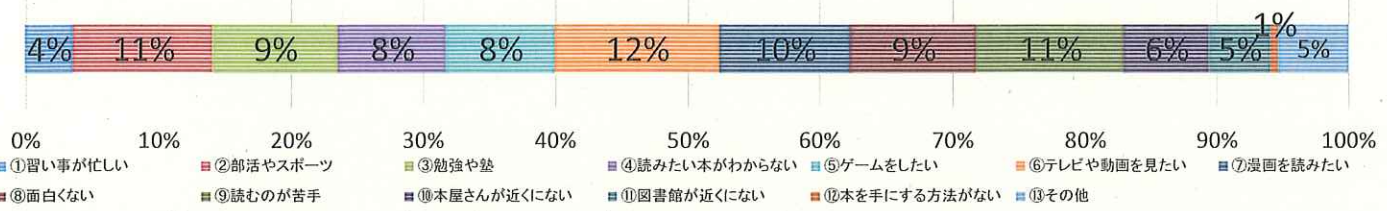


(問2で1と答えた人) なぜ読まないのですか。

小学生全体

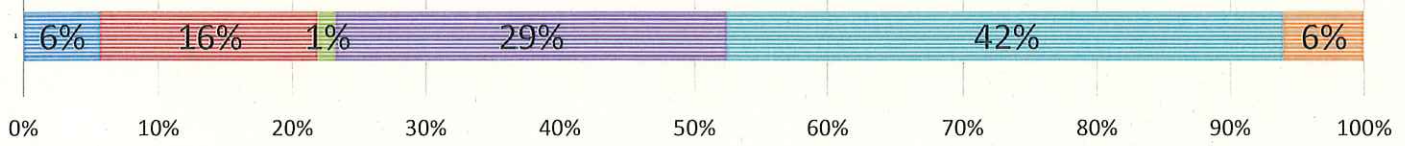


中学生全体

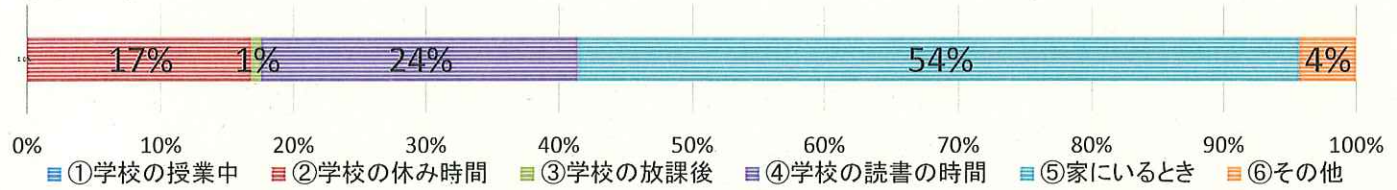


(問2で2~4と答えた人) 主にいつどこで読んでいますか？

小学生全体

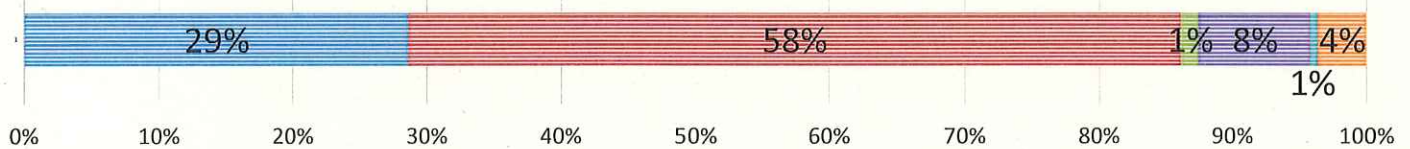


中学生全体

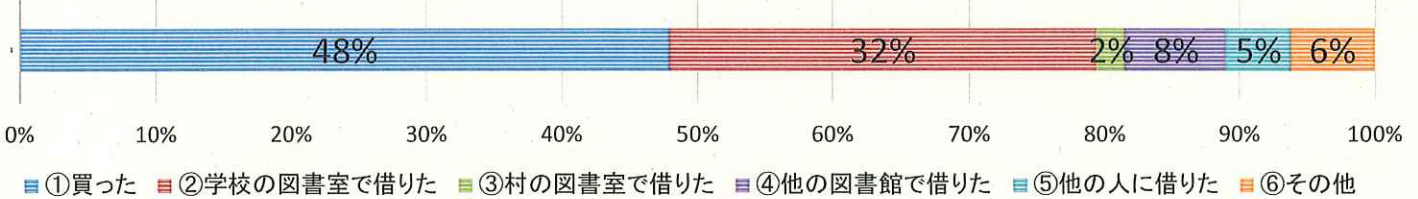


読んだ本は、主にどのようにして手に入れましたか。

小学生全体



中学生全体

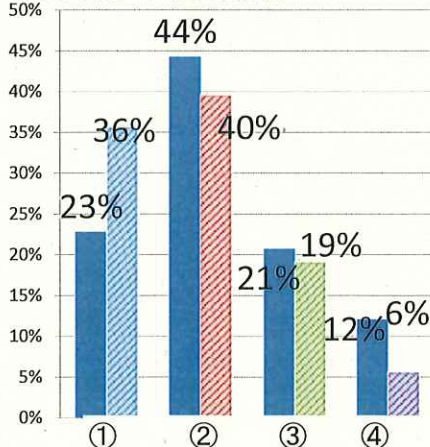


問3 家庭で家族から本を読んでもらったことがありますか？

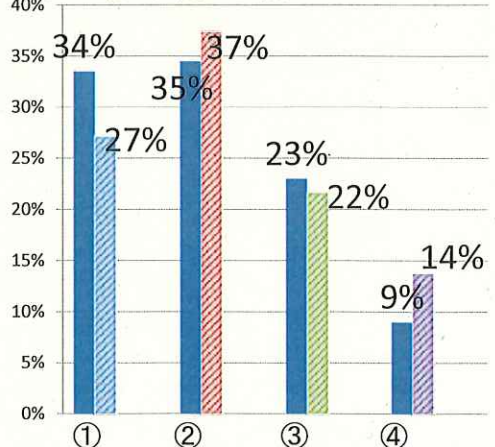
	小学生			中学生		
	今回	H27	H22	今回	H27	H22
①よくあった	23%	36%	9%	34%	27%	19%
②ときどきあった	44%	40%	20%	35%	37%	28%
③ほとんどない	21%	19%	22%	23%	22%	29%
④ない	12%	6%	48%	9%	14%	25%

問3で1・2と答えた方、何歳頃のことでですか？  
個人差はあるが、早い家庭は0歳から。小学校低学年までは読み聞かせを行っている様子が見える。

小学生全体 (前回と比較)

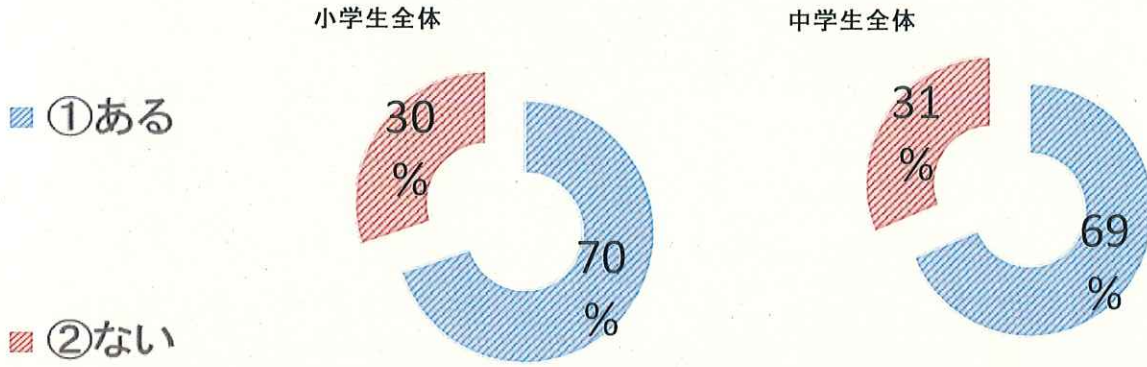


中学生全体 (前回と比較)



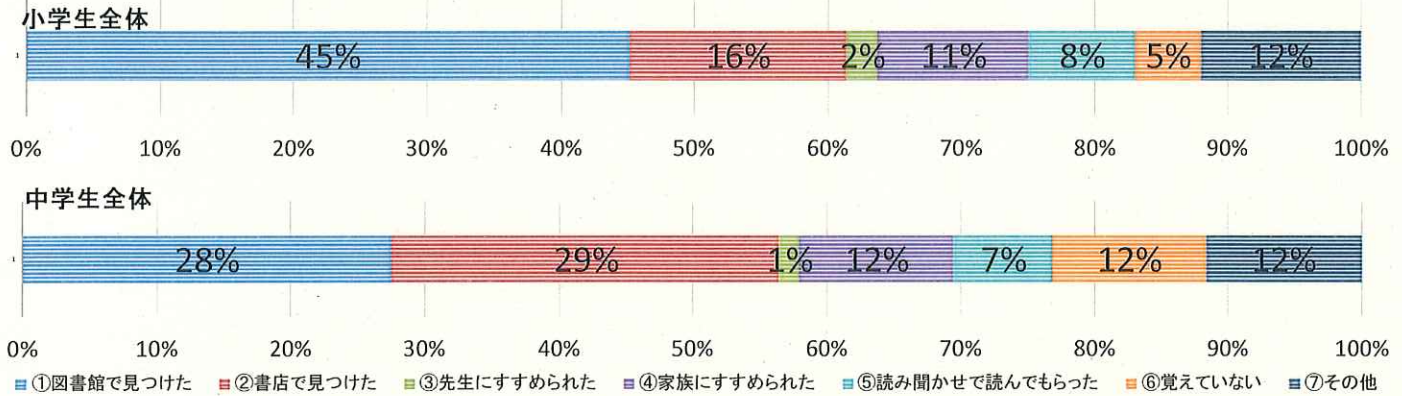


問4 今まで読んだ本の中に心に残る本と出会ったことはありますか？



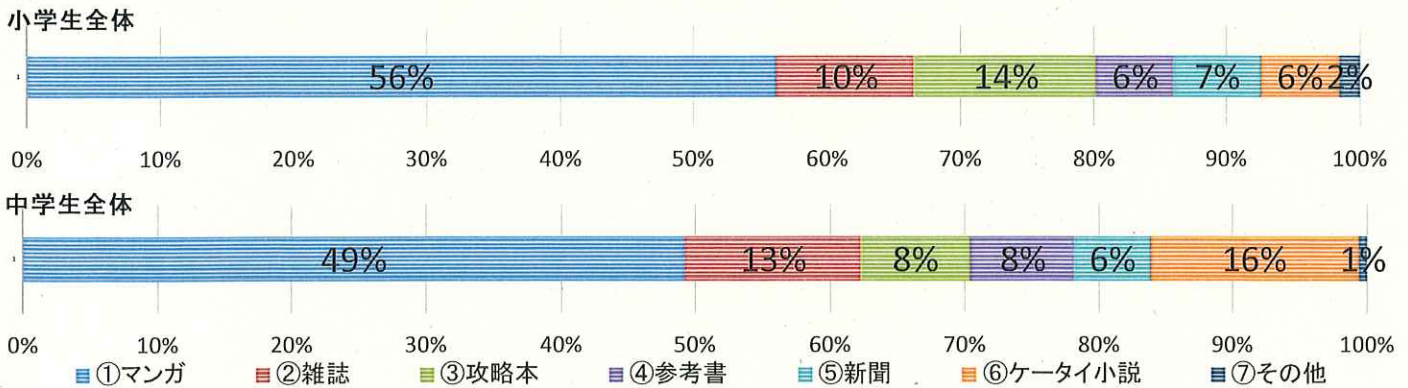
学年	小学生																		中学生								
	1年			2年			3年			4年			5年			6年			1年			2年			3年		
	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22	今回	H27	H22
①ある	67%	74%	74%	70%	76%	71%	58%	59%	80%	72%	66%	78%	76%	79%	76%	77%	61%	79%	71%	62%	86%	70%	78%	75%	65%	70%	67%
②ない	33%	26%	26%	30%	24%	29%	42%	41%	20%	28%	34%	22%	24%	21%	24%	23%	39%	21%	29%	38%	14%	30%	22%	25%	35%	30%	33%

(問4であると答えた人)どのようにして選びましたか？



学年	小学生												中学生					
	1年		2年		3年		4年		5年		6年		1年		2年		3年	
	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27
①図書館で見つけた	57%	39%	50%	40%	48%	46%	34%	48%	42%	37%	42%	53%	30%	52%	22%	38%	30%	41%
②書店で見つけた	12%	24%	10%	40%	13%	35%	18%	25%	12%	28%	30%	18%	23%	21%	32%	30%	35%	24%
③先生に進められた	2%	2%	0%	2%	5%	0%	8%	2%	0%	3%	0%	2%	2%	0%	0%	1%	3%	0%
④家族に進められた	10%	11%	17%	13%	18%	5%	10%	6%	12%	9%	5%	10%	9%	8%	17%	15%	10%	14%
⑤読み聞かせて読んでもらった	10%	9%	10%	2%	5%	3%	6%	6%	12%	13%	5%	6%	12%	10%	2%	0%	5%	9%
⑥覚えていない	0%	7%	10%	2%	8%	0%	4%	2%	4%	4%	5%	6%	16%	8%	7%	4%	10%	5%
⑦その他	10%	7%	2%	2%	5%	11%	20%	10%	19%	7%	13%	4%	9%	0%	20%	12%	8%	7%

問5 小説や物語、伝記などの本のほかにどんなものを読んでいますか？



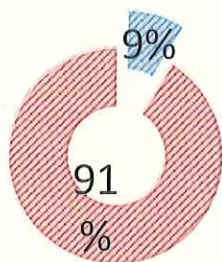


問6 電子書籍を利用していますか？

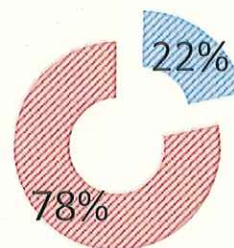
①している

②していない

小学生全体

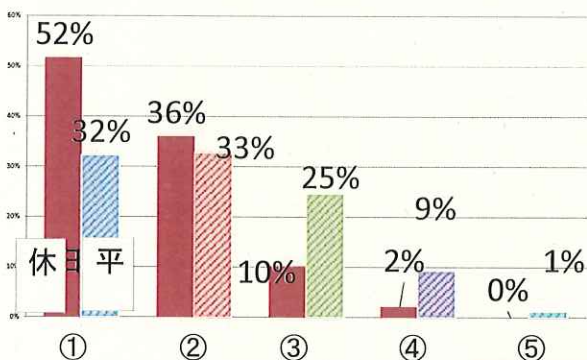


中学生全体

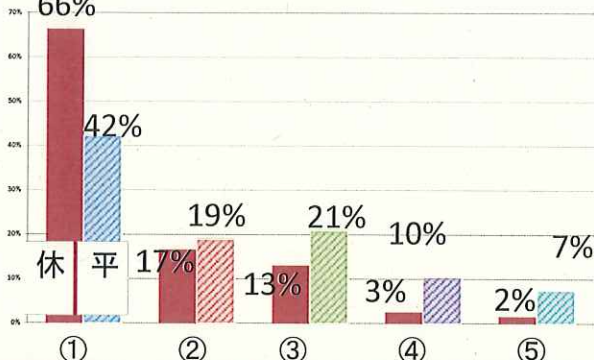


問7 学校から帰って本を読む時間はどれぐらいですか？

小学生全体 (平日と休日の比較)



中学生全体 (平日と休日の比較)



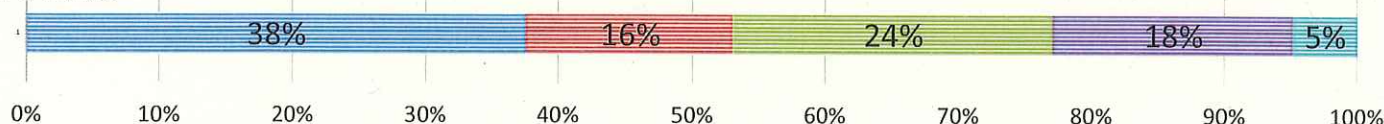
学年	平日																	
	小学生						中学生											
	1年		2年		3年		4年		5年		6年		1年		2年		3年	
	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27
①ほとんど読まない	49%	43%	53%	44%	56%	48%	52%	36%	42%	37%	61%	50%	37%	36%	70%	44%	57%	45%
②30分以内	36%	38%	37%	29%	38%	32%	34%	39%	23%	44%	26%	32%	45%	47%	16%	41%	22%	42%
③30分～1時間	13%	15%	10%	24%	4%	16%	12%	24%	1%	16%	10%	15%	14%	11%	12%	9%	15%	8%
④1時間～2時間	3%	4%	0%	3%	1%	3%	2%	0%	0%	1%	3%	2%	4%	5%	0%	4%	5%	4%
⑤2時間以上	0%	0%	0%	0%	0%	2%	0%	1%	31%	2%	0%	1%	0%	0%	3%	2%	2%	1%

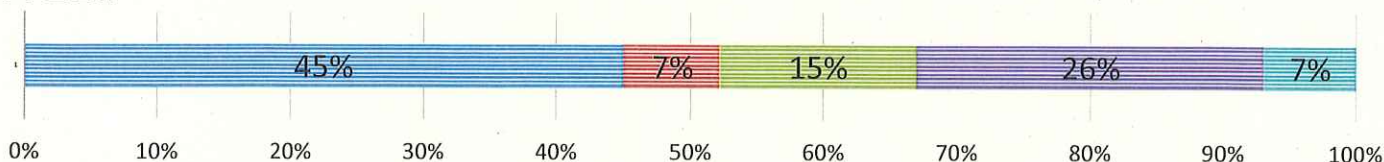
学年	休日																	
	小学生						中学生											
	1年		2年		3年		4年		5年		6年		1年		2年		3年	
	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27
①ほとんど読まない	70%	26%	36%	27%	30%	31%	30%	34%	42%	26%	23%	33%	48%	28%	30%	32%	47%	31%
②30分以内	16%	38%	38%	35%	42%	27%	23%	22%	25%	28%	36%	29%	15%	35%	18%	28%	24%	36%
③30分～1時間	12%	21%	12%	16%	23%	23%	33%	24%	22%	23%	36%	21%	19%	24%	22%	22%	23%	24%
④1時間～2時間	0%	10%	14%	16%	1%	13%	7%	16%	10%	14%	14%	11%	10%	8%	18%	11%	3%	2%
⑤2時間以上	3%	6%	0%	7%	0%	6%	1%	4%	3%	8%	3%	2%	8%	4%	12%	7%	3%	6%

問8 あなたは、どうすればみんながもっと本を読むようになると思いますか？

小学生全体



中学生全体

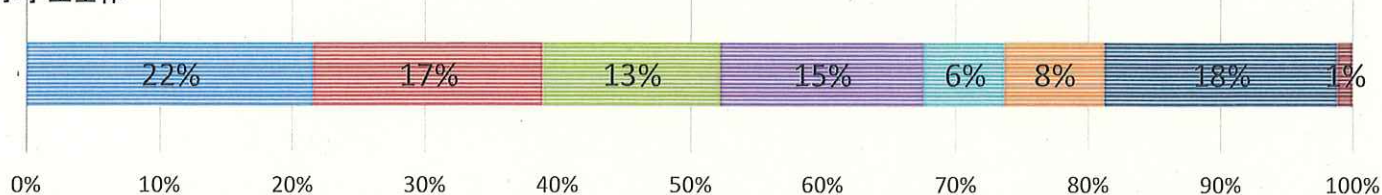


学年	小学生																	
	1年		2年		3年		4年		5年		6年		1年		2年		3年	
	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27	今回	H27
①学校での読書の時間をもっと増やす	31%	40%	31%	44%	33%	43%	40%	47%	43%	42%	47%	53%	42%	46%	46%	43%	48%	43%
②家族みんなでの読書の時間を増やす	19%	14%	21%	9%	19%	13%	15%	13%	12%	8%	8%	9%	9%	10%	7%	11%	6%	14%
③テレビやゲームの時間を減らす	31%	16%	23%	15%	26%	21%	24%	16%	20%	21%	19%	12%	16%	22%	16%	21%	11%	24%
④身の回りにいつも本があるようにする	17%	24%	22%	26%	17%	20%	14%	22%	16%	21%	21%	22%	29%	21%	21%	20%	27%	18%
⑤その他	2%	5%	3%	6%	4%	4%	8%	2%	9%	8%	4%	5%	3%	2%	9%	5%	9%	1%

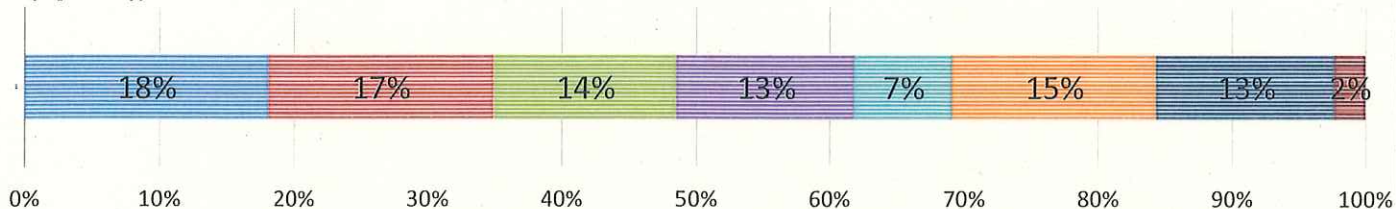


問9 読書のよさや大切さは何だと思いますか？

小学生全体



中学生全体



- ①知らないことがわかる
- ②考える力がつく
- ③国語の力がつく
- ④楽しい
- ⑤友達との話題になる
- ⑥感性が豊かになる
- ⑦集中力が身につく
- ⑧その他

読書について、困っていること、お願いなどありましたら、自由に書いてください。(一部)

字がちょっと小さいからちょっと読みにくい。字をちょっと大きくしてほしい。  
 先生がいっぱいいてほしい。学校の図書館で5冊まで借りられたならいい。  
 工作の本を増やしてほしい。  
 学校の本を増やしてほしい。  
 図書館の先生を増やしてほしい。  
 汚れている本がある。  
 ジブリの本をもっとふやしてほしい。  
 図書室に恐竜の本をふやしてほしい。  
 気軽に行けて近い書店がないこと。  
 図書館が遠い。(大津まで行っている)  
 時間が限られており、読書に時間をかけることができなくなっているから、もっと読書の時間がほしい。  
 図書館を充実させてほしい。益城町のミナテラスのように遊具もPCもあると子どもが集まると思う。  
 村に図書館を作ってほしい。できればマンガも置いてほしい。学校にある本のシリーズ系が最後までないことがあるので置いてほしい。  
 読みたい本をなかなか買いに行くことができず、そのままになっている。リクエストできる回数が減らないでほしい。

学校の好きな本の続きがなくて・・・  
 ママにもっと本を買ってほしい。  
 興味がわく本があまりない。  
 時間がない。(部活等)  
 平日は習い事があってなかなか時間がつかれない。  
 学校に本を読む時間がほしい。  
 長期休日の時でも本を借りたい。  
 図書館で借りた本がたまにやぶれていることがあるから、大切に使ってほしい。

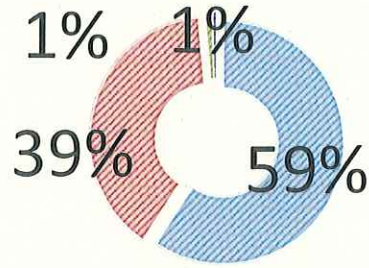
アンケートから

小学生の方が中学生に比べ読書が好き。また、小学生の方がたくさん本を読んでいる。読まない児童生徒に本を読まない理由を尋ねてみると、児童に多かったのが「ゲームやテレビをみたいから」で、生徒は「勉強や部活動が忙しいから」であった。習い事をする子が多く、時間がないと感じている児童生徒が多いようで、限られた時間の中で、読書ができるように学校との連携をさらに進め、ICT教育を活用した読書活動など、身近に読書ができる環境の整備が必要。

## 保育所・子育てセンター保護者 集計表

問1 お子さんは、本を見たり読んでもらったり(読んだり)することが好きですか。

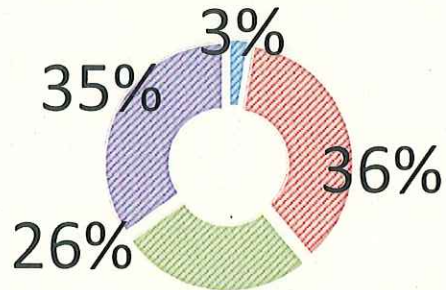
- ①好き
- ②どちらかといえば好き
- ③どちらかといえば嫌い
- ④嫌い



	今回	H27	H22
①好き	59%	75%	72%
②どちらかといえば好き	39%	24%	24%
③どちらかといえば嫌い	1%	1%	5%
④嫌い	1%	0%	0%

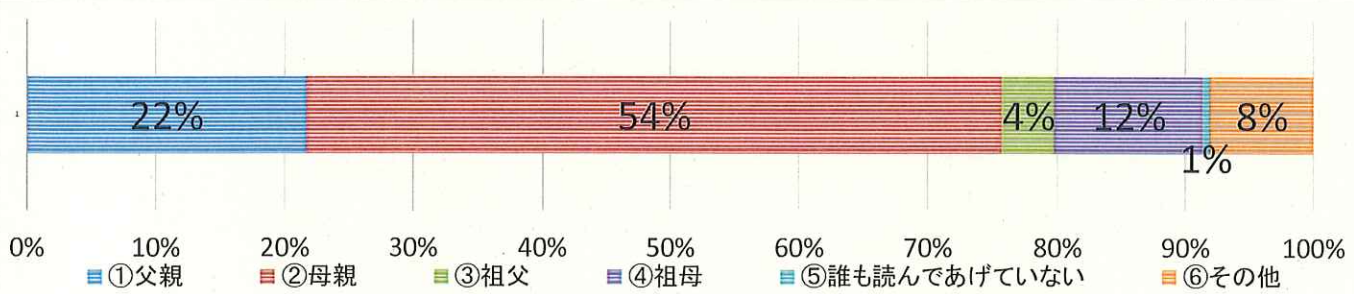
問2 お子さんに、一ヶ月に何冊くらいの本を一緒に見たり、読んであげていますか。

- ①0冊
- ②1～2冊
- ③3～4冊
- ④5冊以上



	今回	H27	H22
①0冊	3%	2%	2%
②1～2冊	36%	31%	38%
③3～4冊	26%	28%	24%
④5冊以上	35%	39%	36%

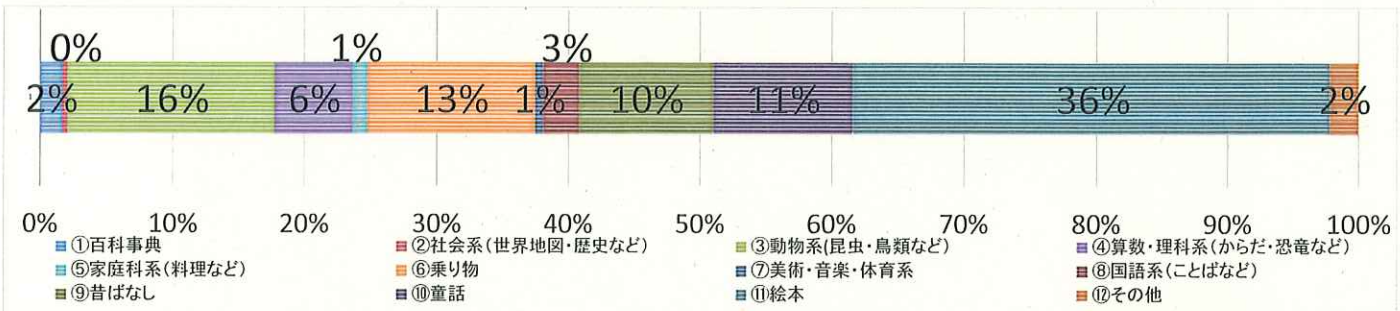
問3 お子さんには、主にどなたが本を読んであげていますか。



	今回	H27	H22
①父親	22%	16%	13%
②母親	54%	66%	62%
③祖父	4%	1%	2%
④祖母	12%	11%	12%
⑤誰も読んであげていない	1%	—	—
⑥その他	8%	6%	11%

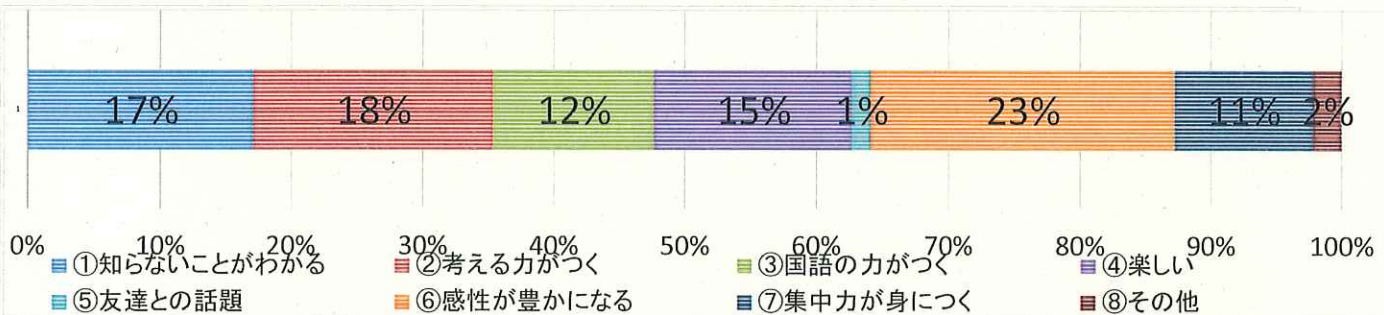


問4 お子さんはどんな種類(ジャンルの本)が好きですか。(複数回答可)



	今回	H27
①百科事典	2%	2%
②社会系(世界地図・歴史)	0%	1%
③動物系(昆虫・鳥類など)	16%	14%
④算数・理科系(からだ・恐竜など)	6%	3%
⑤家庭科系(料理など)	1%	2%
⑥乗り物	13%	13%
⑦美術・音楽・体育系	1%	1%
⑧国語系(言葉など)	3%	3%
⑨昔話	10%	14%
⑩童話	11%	14%
⑪絵本	36%	32%
⑫その他	2%	2%

問5 読書のよさや大切さは何だと思いますか？(複数回答可)



	今回	H27
①知らないことが分かる	17%	15%
②考える力がつく	18%	18%
③国語の力がつく	12%	12%
④楽しい	15%	16%
⑤友達との話題	1%	2%
⑥感性が豊かになる	23%	23%
⑦集中力が身につく	11%	12%
⑧その他	2%	2%

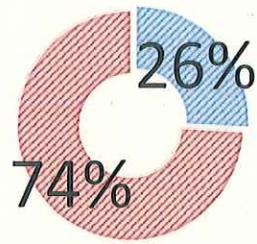
問6 村の図書室をお子さんと一緒に利用したことがありますか。





## 問7 村外の図書館や図書室をお子さんと一緒に利用することはありますか。

■ ①ある ■ ②ない



(問7であると答えた人) どこを利用しますか？

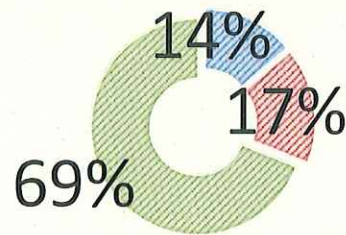
・大津町  
・阿蘇市  
・菊陽町  
・天草市  
・山鹿市  
・竹田市  
・熊本市南部市民センター  
・森都心プラザ図書館  
・高森高校  
・えほんのくに  
等

(問7であると答えた人) 月に何回ほど利用しますか？

・2か月に1回  
・月1回  
・2週間に1回  
・1週間に1回  
等

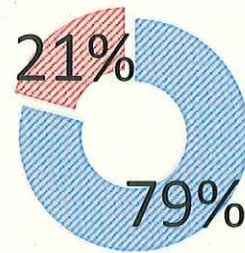
## 問8 『家読』を知っていますか。

■ ①知っている  
■ ②聞いたことはある  
■ ③知らない



(問8であると答えた人) 『家読』を行っていますか。

■ ①行っている  
■ ②行っていない



## 問9 子ども読書活動を推進するための御意見を、自由にお聞かせください。(一部)

村内に図書館や移動図書などがあると読書する機会も増えるのではないかと。利用する人も多いと思う。保育園にも来るようにする。  
絵本を読むとき、どうしても可愛い声、優しい声で読むので、そうしないとダメと思っているのか、パパが恥ずかしがってなかなか読んでくれない。パパとのふれあい読書会などがあったらパパも参加すると思う。  
読み聞かせボランティアやおはなしの会、保育園などで読み聞かせした本の紹介など、子供の絵本を選ぶのは難しいので、現場の先生の紹介は役立つと思う。読書通帳も楽しい。  
保育園で先生に読んでもらった本のお話をするので、子供にとってはとてもいい時間になっていると思う。  
村の定期健診時に本がもらえたのと、本が子供にとってどんな良い影響を与えるか勉強する機会があった事で、本に興味が増えた。今後もやっていただけたら嬉しい。  
自分が小さい頃、本が好きでよく読んでいた。そのおかげで作文や国語がとても好きになった。自分の子供にも同じようになってほしい。  
図書館でも子供向け(少しは騒いでも大丈夫)だと、もっと利用ができるかと思う。  
自宅だけだとなかなか改まった読書の時間を設けるのは難しいと感じる。小学校で、毎日読書の宿題があっているのはありがたいと思う。  
紙芝居、朗読会などいっぱいあると嬉しい。  
本を読むことはよいとわかってはいるが、忙しさに負け後回しになりがち。寝る前に1冊読んで毎日すんなり眠りに就いている。  
えほんのおうちやひなた文庫におすすめの本がないか相談できるので子供に読み本を選ぶ苦労していない。ありがたい。  
保育園でも読み聞かせ、わくわく広場でも読みきかせがあり、そのような場があることはとてもありがたい。  
保育所で本の貸出を行う。本だけのために他の図書館へは行かないがいつも行くところがあると便利。  
年齢に合わせたおすすめの本や本の紹介の定期的なおたよりなどがあると嬉しい。

### アンケートから

ほとんどの家庭で読み聞かせを行っている。乳児の時から読み聞かせをする家庭が多く、そのためか、ほとんど幼児が本を読むことを好きと感じている。しかし、村の図書室の利用は少なく、村外の図書館等もあまり利用できていない。汚したり、騒いだりするかもしれないなど図書館等を利用することに躊躇する傾向にあるため、利用しやすいような雰囲気作りが必要。また、保育所や子育て支援センター、えほんのくにと連携をして、新たな読書活動推進の工夫も必要。

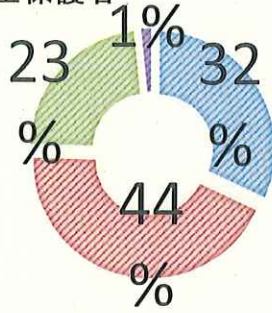


# 小中学生保護者 集計表

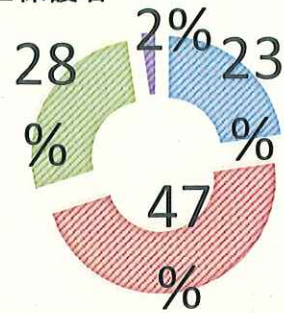
問1 あなた(保護者)は読書が好きですか。

- ①好き
- ②どちらかといえば好き
- ③どちらかといえば嫌い
- ④嫌い

小学生保護者



中学生保護者

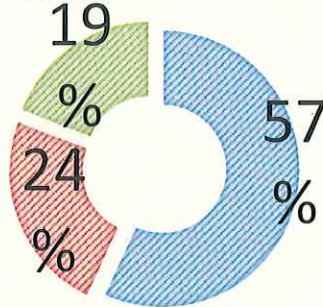


	小学校保護者		中学校保護者	
	今回	H27	今回	H27
①好き	32%	34%	23%	29%
②どちらかといえば好き	44%	44%	47%	45%
③どちらかといえば嫌い	23%	20%	28%	24%
④嫌い	1%	2%	2%	2%

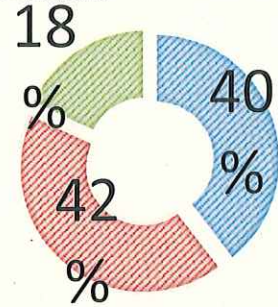
問2 お子さんはお家で読書をしますか。

- ①はい
- ②いいえ
- ③どちらともいえない

小学生保護者



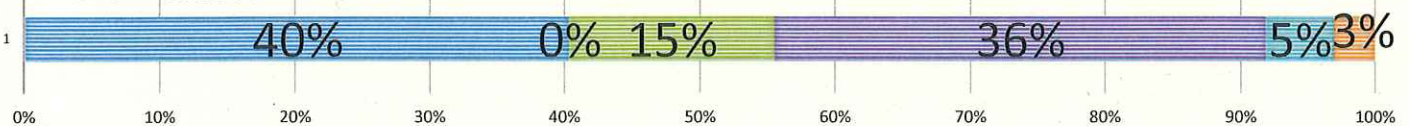
中学生保護者



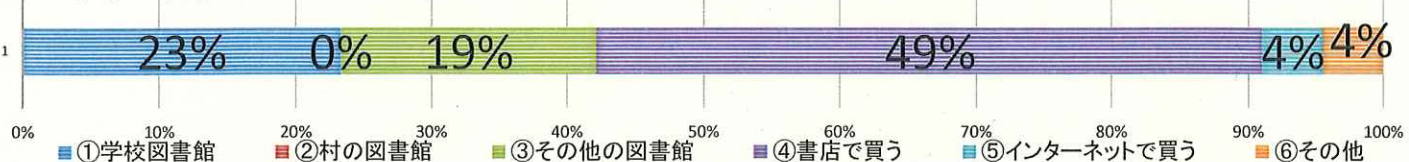
	小学校保護者		中学校保護者	
	今回	H27	今回	H27
①はい	57%	61%	40%	40%
②いいえ	24%	20%	42%	37%
③どちらともいえない	19%	19%	18%	23%

(問2ではいと答えた方)主にどこでその本を手に入れますか。

小学生保護者



中学生保護者



	小学校保護者		中学校保護者	
	今回	H27	今回	H27
①学校図書館	40%	43%	23%	31%
②村の図書室	0%	1%	0%	1%
③その他の図書館	15%	22%	19%	13%
④書店で買う	36%	31%	49%	49%
⑤インターネットで買う	5%	3%	4%	6%
⑥その他	3%	1%	4%	0%



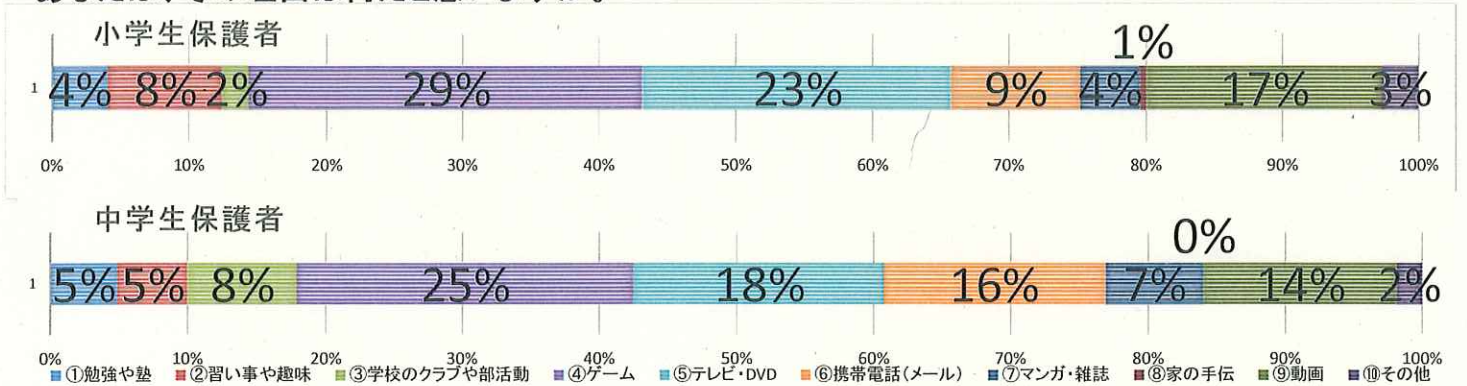
問3 あなたは、子どもに本を読んであげた経験がありますか。

	小学校保護者		中学校保護者	
	今回	H27	今回	H27
①はい	96%	96%	91%	90%
②いいえ	4%	4%	9%	10%

(問3ではいと答えた方)それはいつですか。

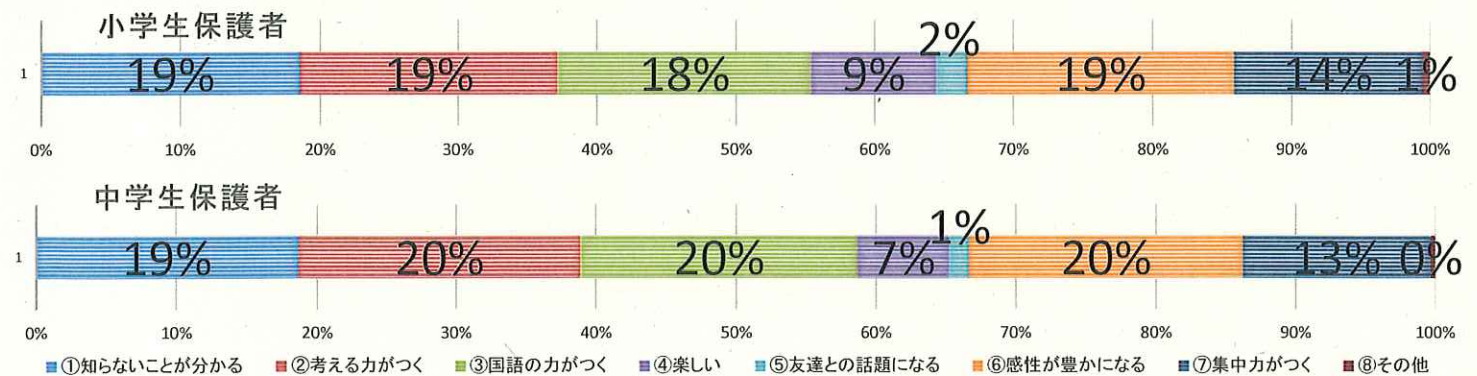
多くの方は、0から3歳までに読み聞かせを始め、小学校低学年まで行われていた。

問4 子どもの「読書離れ」が進んでいるといわれていますが、あなたは、その理由は何だと思えますか。



	小学校保護者		中学校保護者	
	今回	H27	今回	H27
①勉強や塾	4%	6%	5%	7%
②習い事や趣味	8%	7%	5%	4%
③学校のクラブや部活動	2%	7%	8%	8%
④ゲーム	29%	31%	25%	24%
⑤テレビ・DVD	23%	32%	18%	28%
⑥携帯電話(メール・ラインなど)	9%	8%	16%	18%
⑦マンガ・雑誌	4%	7%	7%	9%
⑧家の手伝い	1%	1%	0%	1%
⑨動画	17%	—	14%	—
⑩その他	3%	2%	2%	2%

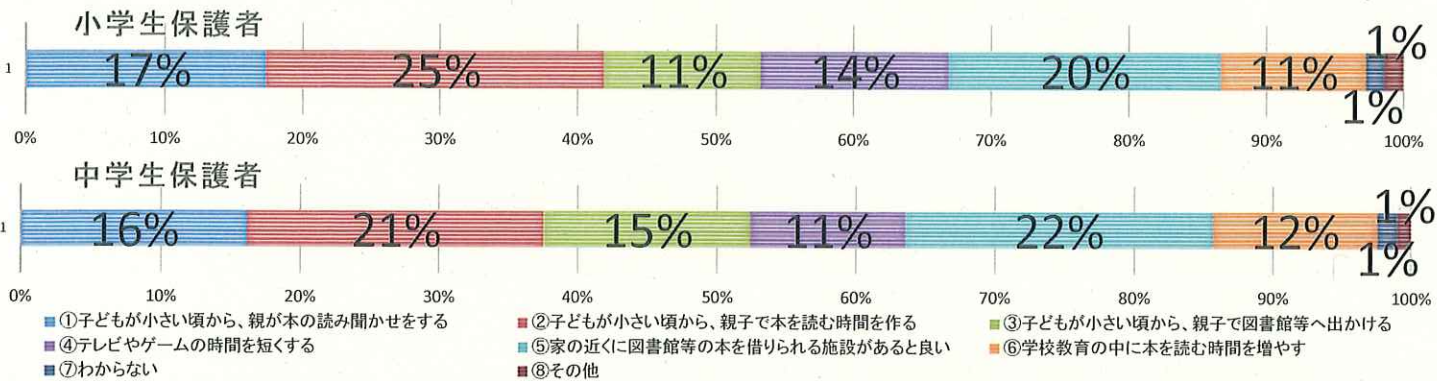
問5 読書のよさや大切さは何だと思えますか。



	小学校保護者		中学校保護者	
	今回	H27	今回	H27
①知らないことが分かる	19%	18%	19%	17%
②考える力がつく	19%	21%	20%	20%
③国語の力がつく	18%	17%	20%	17%
④楽しい	9%	7%	7%	7%
⑤友達との話題になる	2%	2%	1%	1%
⑥感性が豊かになる	19%	20%	20%	22%
⑦集中力がつく	14%	14%	13%	15%
⑧その他	1%	1%	0%	1%

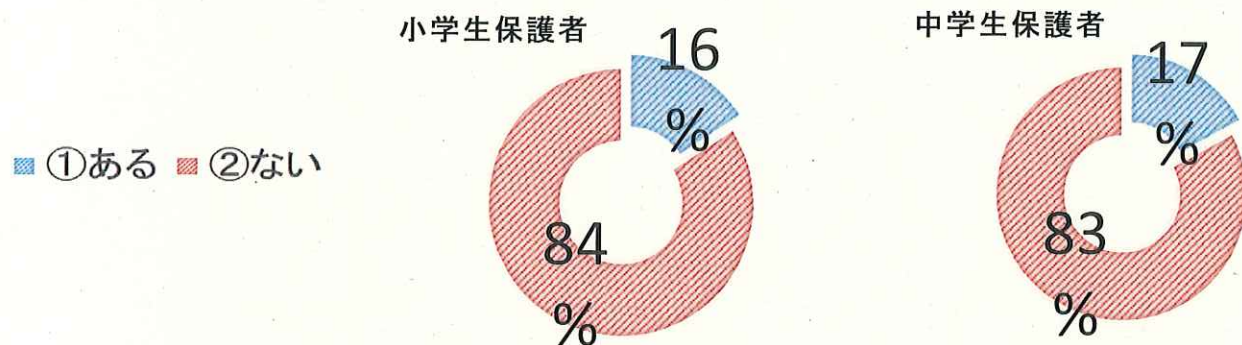


問6 あなたはどうすれば今の子ども達がもっと本を読むようになると思いますか。

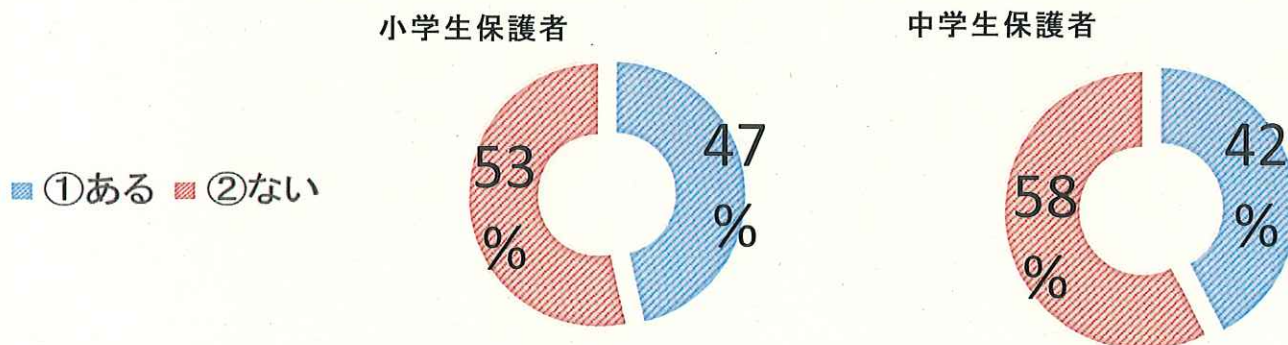


	小学校保護者		中学校保護者	
	今回	H27	今回	H27
①子どもが小さい頃から、親が本の読み聞かせをする	17%	20%	16%	20%
②子どもが小さい頃から、親子で本を読む時間を作る	25%	23%	21%	21%
③子どもが小さい頃から、親子で図書館等へ出かける	11%	12%	15%	9%
④テレビやゲームの時間を短くする	14%	15%	11%	16%
⑤家の近くに図書館等の本を借りられる施設があると良い	20%	20%	22%	19%
⑥学校教育の中に本を読む時間を増やす	11%	9%	12%	13%
⑦分からない	1%	1%	1%	1%
⑧その他	1%	1%	1%	1%

問7 村の図書室を子供と一緒に利用したことがありますか。



問8 村外の図書館や図書室を子供と一緒に利用することはありますか。



(問8ではいと答えた方) どこを利用していますか。

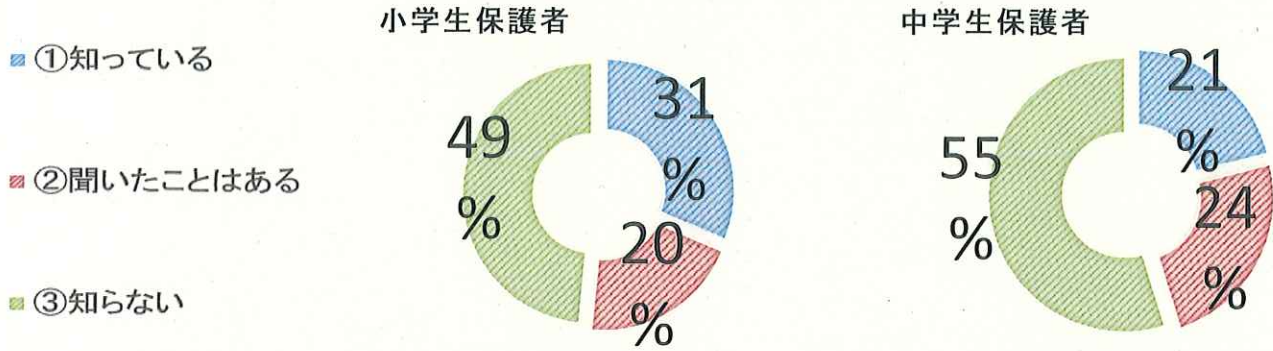
- ・大津町
- ・合志市
- ・竹田市
- ・森都心プラザ図書館
- ・阿蘇市
- ・山都町
- ・熊本県立図書館
- ・高森高校
- ・菊陽町
- ・山鹿市
- ・熊本市立図書館
- ・えほんのくに
- 等

(問8ではいと答えた方) 月に何回くらい利用していますか。

- ・半年に1回
- ・月1回
- ・2、3か月に1回
- ・2週間に1回
- ・2か月に1回
- ・1週間に1回
- 等



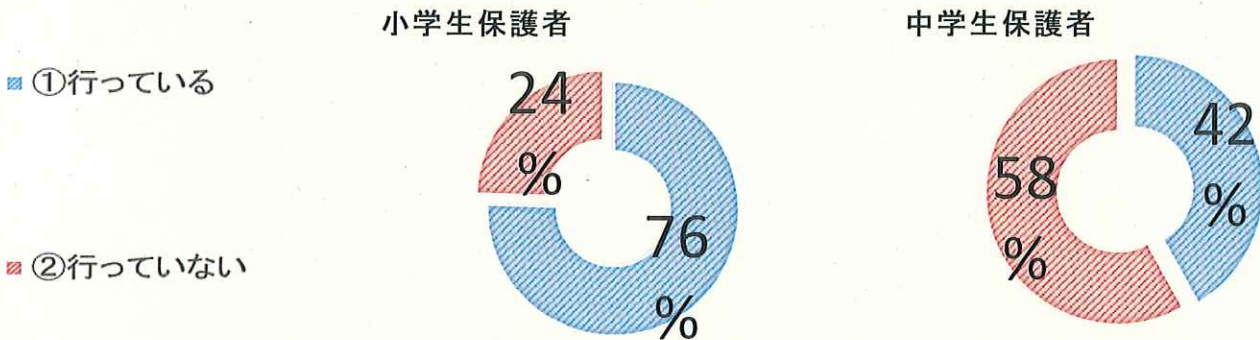
## 問9 『家読』を知っていますか。



(問9で知っていると答えた人 どのようにして知りましたか。)

- ・他のアンケート
- ・インターネット
- ・学校の宿題
- ・テレビ
- ・図書館など
- ・新聞
- ・友人との会話
- 等

(問9で知っていると答えた人 『家読』を行っていますか。)



## 問10 子どもの読書活動推進に関して、保護者の意見を自由お聞かせください。(一部)

地域に移動図書館で回ってきて欲しい。大人も本を身近に感じることができ、読書の習慣がつく。  
 読書は大切なこととわかってはいますが、なかなかできていません。親としても本の大切さは分かっていますが、読み聞かせの機会を作ることは忘れがちでした。  
 家に本があれば子供は読むので、ネットなどでリクエストして南阿蘇で受け取り返却ができると嬉しい。現在コロナの影響で1ヶ月借りる事ができるので助かっている。  
 南阿蘇村にも子供たちが楽しく過ごせる図書館をつくらせてほしい。(公園も含め)  
 現代の子供たちは読書する時間が本当に少ないと思います。親も一緒になって進めていかなければならないと改めて感じました。  
 親が早く家に帰ってこれて、夜ゆっくり本を読む時間が必要。親のワークライフバランスが必要。  
 活字の読書は想像力が豊かになるとおもいます。わたしは、その後の人生を左右するような本と出会えたのでラッキーだった。  
 近くに親子で行ける場所があるといい。小さい頃から、本と触れ合ったり、調べたり、興味を持てる内容が探せる。  
 自分が小学校の頃、授業が始まる前15分間、読書をする時間が設けられていた。1年生には慣れるまで6年生がついて読んでいたのでそのような取り組みもお勧め。  
 新設される図書館にとっても期待しています。まず、本に日常的に触れられる環境があることは、とても大事だと思うので。  
 忙しくて図書館に通う時間がありません。特に子供は部活動や習い事。親も、平日は帰りが遅く休みの日は上の子の部活動の送迎に追われています。  
 学校での読書活動へのご指導ありがたく感じています。各家庭で取り組み方はそれぞれだと思いますが、我が家は取り組みが十分でない申し訳なく思っています。  
 漫画から導入する。家族で読み聞かせをするもしくは、読書の時間を作る。  
 家だけの環境ではなかなか読書習慣は難しいと感じているので学校での本読み習慣はともありがたく思っています。子供自身は新しい図書館を楽しみにしています。  
 読書はとても大事だと思っています。考える力などがつくのはもちろん、文章力がついたり、国語が楽しくなると思っています。読書はいいことづくしだと思います。  
 時間をかけても行きたいと思えるシンボルのような図書館が村にあるとどれだけいいか。ただ本が借りられる施設があれば良いという考えは古く感じます。  
 村の図書館ができ、司書が常勤し、各学校の子供等に直接関わって欲しい。図書館では皆がゆっくり読書や学習できるスペースが欲しい。  
 手にとって読む本ももちろんいいが、電子図書やオーディオ図書など、時代に合わせて使い勝手の良い図書も取り入れていくと読書の敷居が下がると感じる。  
 最近では月に一冊は自分の好きな本を読もうと約束をして書店に行くようになった。読まなければという気持ちより、読みたいと自分で思っ本が好きになって欲しい。  
 もっと親子で本を読んだり楽しさが分かるようにイベントなどがあるといいと思う。  
 年齢別の本棚があるといいかも。何を読んだらいいのかわからないみたい。  
 いろんな物語に触れるように小さい頃は一緒に楽しんだが、短時間で一方的な情報が得られるネット動画などを観ていることが増えて、私自身も電子書籍を利用してる。  
 学校の図書本をたくさん利用することが一番いいと思うので週末の宿題として、借りた本の名前とどんな内容だったか簡単な感想などを書かせて読む習慣をつけさせる。  
 息子は読み聞かせをしても興味がなく、図鑑の方がずっと見てられる。絵の入った本で興味のある分野はインプットされやすいので子供によって自分なりの本を見つけて深めていく大切さを実感している。  
 うちの子供は、本を読むことが好きではないので、今回の活動で少しでも読んでみようと思ってくれたらいいと思う。きっかけとなる一冊に出会えることを期待している。

### アンケートから

全体の約7割の保護者は読書が好きだと答えた。児童、生徒に比べるとやや割合は少ない。  
 また、保護者の目線から小学生の方が中学生に比べて読書をしていると感じている。保護者も共働き家庭の増加や、子供の習い事の送迎などで家庭での読書に費やす時間は減少し、読書離れが進行している様子。  
 村の図書室の利用は少なく、村外の図書館等の利用も全体の半数程度となっている。来年度に開室する図書室への利用者促進を進め、今まで読書に遠ざかっていた家庭がより参加したくなるイベントや、読書したくなるような工夫が必要。(インターネットを利用した、電子図書も読書活動推進の一助として活躍を期待する。)



## 南阿蘇村子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱

平成 22 年 4 月 1 日  
教育委員会訓令第 1 号

(設置)

第 1 条 子どもの読書活動の推進に関する法律（平成 13 年法律第 154 号）第 9 条第 2 項の規定に基づき南阿蘇村子ども読書活動推進計画を策定するため、南阿蘇村子ども読書活動推進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会は、次の各号に掲げる事項について調査検討する。

- (1) 子どもの読書活動推進計画に関すること。
- (2) 子どもの読書の意義と現状把握に関すること。
- (3) その他教育委員会が必要と認める事項

(委員)

第 3 条 委員会の委員は別表の中で組織し、委員は教育長が委嘱する。

(委員の任期)

第 4 条 委員の任期は 1 年とし、再任を妨げない。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長および副委員長)

第 5 条 委員会に委員長および副委員長各 1 名を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときまたは委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 6 条 委員会の会議（以下「会議」という。）は委員長が招集し、委員長が議長となる。

2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 委員長は、会議に必要な関係者の出席を求め、意見を聞くことができる。

(庶務)

第 7 条 委員会の庶務は、教育委員会社会教育係において処理する。

(その他)

第 8 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は委員長が定める。

附 則

この訓令は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

附 則

この訓令は、平成 22 年 6 月 1 日から施行する。

別 表

南阿蘇村子ども読書活動推進計画策定委員

番号	職 種	備 考
1	小学校図書担当	
2	中学校図書担当	
3	保育所保育士	主任保育士
4	読み聞かせボランティア	村内
5	教育委員会図書担当	社会教育係
6	行政及び学識経験者	村内

# ○子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日)

(法律第百五十四号)

第百五十三回臨時国会

第一次小泉内閣

子どもの読書活動の推進に関する法律をここに公布する。

## 子どもの読書活動の推進に関する法律

### (目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

### (基本理念)

第二条 子ども(おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。)の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

### (国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

### (地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

### (事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

### (保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

### (関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他必要な体制の整備に努める

ものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画(以下「子ども読書活動推進基本計画」という。)を策定しなければならない。

2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。

3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画(都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画)を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画(以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。)を策定するよう努めなければならない。

3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。

4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。

3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。